

## テッポウユリの新品種「おきのしらたえ」の育成経過と特性

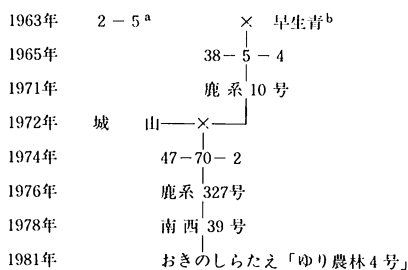
小林正芳・姫野正己・上原裕美(鹿児島県農業試験場)

KOBAYASHI, M., M.HIMENO and H.UEHARA: New Easter Lily Cultivar "OKINOSHIRATAE"

鹿児島県農業試験場では、1963年からテッポウユリの育種を行なっているが、前回(1979年)報告した「おきのこまち」、「おきのかおり」に続き、今回、当農試育成の1系統、南西39号が、ゆり農林4号、品種名「おきのしらたえ」として農林登録されたので、その育成経過と特性概要について報告する。

## 1. 育成経過

育成経過については、第1図に示したが、1963年に大島産業試験場沖永良部分場育成の“2-5”と野生種の選抜系統“早生青”の交配を行なった。その実生集団より1系統を選抜し、1971年に“鹿系10号”と系統番号をつけた。1972年に早生品種の“城山”と“鹿系10号”の交配を行ない、順次選抜を繰り返し、1系統を選抜した。1976年に、この系統に“鹿系327号”と系統番号をつけ、更に1978年に“南西39号”と系統番号をつけた。その後鹿児島県農業試験場、野菜試験場久留米支場、埼玉県園芸試験場で、数年間系統適応性検定試験を実施した結果有望と認められたので、1981年に農林登録の申請を行なった。審査の結果、優秀性が認められ、今回、“ゆり農林4号”として登録され、品種名は「おきのしらたえ」と命名された。



第1図 おきのしらたえの育成経過

a. 大島産業試験場沖永良部分場育成 b. 野生種選抜

## 2. 特性概要

1) 球根生産地における露地特性：球根生産地、沖永良部島における「ひのもと」、「ジョージア」の開花日は、例年4月25日前後であるが、「おきのしらたえ」は

4月8日前後に開花し、極早生品種である。花数は、「ジョージア」に較べれば、かなり少ないが、「ひのもと」との比較では、若干少ない程度である。花径は、「ひのもと」並みで、花筒長はやや長い。茎長は「ジョージア」並みかやや高い。葉数はかなり少なく、葉長は長い。葉は「ひのもと」、「ジョージア」より立葉であるために密植が可能で、10a当たり22,000球程度定植できる。

2) 球根生産およびりん片繁殖：球根生産力およびりん片繁殖力についての調査結果を、第1表に示した。球周7cmの種球を植えた場合、「おきのしらたえ」は、L球の生産割合が高く、「ひのもと」、「ジョージア」より、球根の肥大性が優れていた。木子の着生数も多かった。球根の性状については、球焼けがほとんど見られず、球根のしまりも良好であった。りん片繁殖における、1母球当たりの生産仔球数も、「おきのしらたえ」が一番多く、また仔球の肥大性についても「おきのしらたえ」が一番優れていた。

3) 促成栽培：促成栽培については、1979年度の系統適応性検定試験の結果を、第2表に示した。この表は、12月出荷促成栽培試験の結果であるが、「おきのしらたえ」は、露地での開花と同様、かなり早生性で、「ひのもと」と対比した場合、2-4週間開花が早かった、茎長は「ジョージア」と「ひのもと」の中間で、茎は剛直であった、花数は、対照品種よりやや少なかった。特に、多花性の「ジョージア」と比較した場合、年によってはかなりの差が生じることがある。花径は、対照品種とほぼ同等であるが、内花被の幅が対照品種よりやや狭いために、実際には小さく見える。しかし内外花被の幅の差が少ないために、全体として清らかな感じを与える。葉色は濃く、葉数はやや少ない。葉は立葉で剛直なため、多少の不良環境下でも、草姿はほとんど乱れない。

超促成栽培においても、前述のような傾向を示すが、「ひのもと」対比開花促進日数は、10日前後に縮まる。

2月出荷促成栽培においては、「ひのもと」対比開花促進日数は、3-5週間となり、低温下で栽培すればする

第1表 球根の肥大性及びりん片繁殖による生産力

品 種 名	球 根 の 肥 大 性 <sup>a</sup>							り ん 片 繁 殖 <sup>b</sup>				
	球根の肥大割合			球根の状態		着生木子		球数 母球	生 産 球 の 割 合			
	L	M	S	球焼け	しまり	平均数	平均重		12cm以上	9~12cm	6~9cm	3~6cm
おきのしらたえ	42%	33%	25%	無	極良	1.8球	6.2g	45球	1球	25球	15球	4球
ひのもと	10	50	40	多	良	0.8	8.3	36	—	2	33	1
ジョージア	10	80	10	多	極良	0.6	4.7	31	—	—	31	—

a, 供試球(7cm球) 栽培:沖永良部 20cm×20cm 1977, 10, 8~1978, 6, 10

b, 母球(22cm球) 栽培:沖永良部 1977, 10, 7~1978, 7, 20

るほど、開花日の差が開いてくる。また、低温下で栽培しても、佐伯30号等で顕著に認められる。昼夜の温度較差による“がく割れ”は、ほとんど認められず、花弁の萎縮、奇型等も、ほとんど発生しない。

3. ま と め

「おきのしらたえ」の特性について、第3表にまとめたが、要約すれば以下になる。

- ①早生または極早生性の品種である
- ②立葉で茎葉が剛直なため、密植が可能である
- ③既存の品種より、低温下でも栽培が可能である
- ④球根の生産力、りん片繁殖力が優れている。

このように、球根の生産力、繁殖力に優れ、栽培期間が短く、比較的低温下でも栽培が可能なのは、暖房燃料が高騰している現在、省エネルギータイプの新品種として実用性が高く、将来の主要品種となる、期待が持たれる。



写真1 おきのしらたえ

第2表 12月出荷促成栽培における開花時の特性

品 種 名	試験地	平 均 開 花 日	ひのもと対比 開花促進日数	茎 長	花 数	花 径	内花被幅	葉 数	葉向	判 定	
										草姿	花容
おきのしらたえ	鹿児島	12月23日	19日	89cm	2.8輪	13.5cm	3.6cm	50枚	3~4	◎	○
	久留米	12.24	27	79	4.1	12.4	3.9	51	2~3	◎	◎
	埼玉	12.22	15	78	4.1	12.6	4.0	46	2~3	○	◎
ひ の も と	鹿児島	1.11		108	5.6	13.8	4.8	70	3~4	◎	○
	久留米	1.20		83	5.4	12.0	4.5	52	3	◎	○
	埼玉	1.6		101	3.8	13.1	4.5	67	2~3	◎	◎
ジ ョ ー ジ ア	鹿児島	1.11		104	6.6	14.0	4.2	67	4	×	○
	久留米	1.19		74	5.9	12.9	4.8	60	2~3	○	◎
	埼玉	1.5		77	4.7	13.4	4.6	58	2~3	◎	◎

注) 定植 鹿児島県農業試験場 9月25日 床植 夜温10℃ 葉向 1 2 3 判定 ◎優  
 野菜試久留米支場 9月21日 5号素焼鉢植 夜温10℃ 4 5 ◎良  
 埼玉県園芸試験場 9月25日 5号素焼鉢植 夜温14℃ ○並

第3表 特 性 比 較 表

項 目		おきのしらたえ	ひのもと	ジョージア
球 根 栽 培	球根の肥大	極 良	良	良
	球根のしまり	極 良	極 良	良
	球 焼 け	な し	甚 多	甚 多
	木子の着生	極 多	多	中
	繁殖率	高	中	中
	草 勢	極 強	中	強
	葉の着生角度	45°	15°	15°
	早 晩 性	極 早 ~ 早	中	中
促 成 栽 培	植付球数/10a	22,000	22,000	12,000~15,000
	早晩性(10月出荷)	早	中	中
	" (2月出荷)	極 早 生	中	中
	草 丈	中	長	中
	葉 数	少	中	中
	葉 長	中	短	中
	葉 幅	中	中	や や 狭
	花 径	中	中	中
内 花 被 の 幅	花 径	や や 狭	中	中
	花 数	少	中	多
	促 進 夜 温	8~10℃でも可	13~15℃	13~15℃